

仙北市に伝わる 伝統行事・小正月行事

松葉・相内の裸参り

西木町松葉・相内地区に伝わる裸参りが2月17日行われ、7人の若者が参加しました。



参加者は松木内川の清流で身を清め、わらで編んだ「けんだい」を腰につけ、白足袋にわらじ履きで、沿道からの声援を受けながら、かけ声勇ましく集落内を走り、一気に旭山を駆け登りました。

金比羅宮に無火災を祈願し、けんだいと結びひもを切ったわらじを神木に結わえつけ、お神酒をいただきました。



小正月行事 中里のカンデッコあげ



旧暦の1月15日に行われている、中里塞之神の小正月行事「中里のカンデッコあげ」(国記録選択無形民俗文化財・県指定無形民俗文化財)が、2月21日行われました。

カンデッコとは、朴の木で作った小型の鍬のことで、このカンデッコと胡桃の木で作った男根を注連縄の両端に結んで一対にし、これを神木である桂(市指定天然記念物)に豊作や縁結び、家内安全など、その年への願いを込めて投げ掛けます。うまく掛かると願いが叶うといわれ、その木に掛かったカンデッコを栗や柿の木などに掛けると、多くの実を結ぶと言い伝えられています。

当日は、神事を行ったあと、桂のより高いところを狙って投げ掛け、帰るときには、桂に掛かったカンデッコを外して持ち帰りました。



生保内地区の小正月行事 なるか

田沢湖生保内地区に伝わる小正月行事「なるか」が2月21日、市役所田沢湖庁舎前駐車場で行われました。

当日は、正月に各家庭で飾られたしめ飾りなどをお祓いしたあとお焚きあげしました。会場では、なるか保存会会員により、そばと揚げパンが訪れた皆さんに振る舞われました。

ホラ貝と太鼓が響き始めると、わら松明をもって会場を練り歩きながら、五穀豊穰と無病息災を願いました。

